



『セミたちと温暖化』日高敏隆著／新潮社



book

鳥は日の長さで春の到来を知り、ヒナのエサとなる虫たちは、温度で冬眠から目覚めるのだとか。だから、温暖化が進むと、鳥は混乱してしまうかもしれない。では、土の中で長い時間を過ごすセミはどうなのか。動物行動学の第一人者が幅広い視野で、さまざまな生き物たちのこと、地域の環境のこと、人間の食べ物などをやさしく語ります。身近な生き物たちやふだんの生活の中に、温暖化を考えるきっかけがたくさんあることに気づかされる一冊です。

『北極のナヌー』



movie

地球温暖化によって、北極の水が融けていることをご存じでしょうか? 『北極のナヌー』は、そんな消えゆく氷の大地に生きる、シロクマとセイウチの親子の物語。ナヌーとは、エスキモーが尊敬の気持ちこめてシロクマを呼ぶときの名称です。まるでぬいぐるみのように愛くるしいだけでなく、北極の厳しい大自然を生きぬくたくましい動物たち。ナショナルジオグラフィック社がおくる奇跡のドキュメンタリードラマは、10月にロードショーの予定です。

<http://www.nanu.jp/> 監督:アダム・ラヴェッチ、サラ・ロバートソン 配給:松竹

大手町カフェ



spot

東京・大手町のオフィスビル内の一角に、『大手町カフェ』があります。コンセプトは「Sustainability for Marunouchi」。2005年8月のオープン以来、訪れるひとたちの憩いの場となっています。ビル解体時に出たコンクリート骨材を再利用した床、空気を浄化する塗装技術、店内を彩る植物など、丸の内の歴史を活かしつつ、環境にやさしい素材を活用し、カフェをモダンにデザイン。そんな空間でランチをいただながら、ほっとひと息ついてみてはいかがでしょうか?

<http://www.o-cafe.com/index.php> 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル1階(電話03-3211-7692)

シャワー、その瞬間に

トラネコチームさん

その2



シャワーを使う、その瞬間に出来るエコをご紹介します。さすがに冷たい水をいきなり浴びる人はいませんよね。シャワーの水が温まるまでに、ついつい流してしまう水も貴重です。お風呂に入れるとお湯が冷めてしまいますから、小さなバケツを用意しておき、そこに水を溜めておきます。我が家では、たまった水を後で洗濯に使っています。

麺類をゆでる時

ファミリーNAKAmsさん

その3



乾うどんやそば、スパゲッティなど、少しゆで時間のかかる麺類は、麺を入れて沸騰してから1分ほどかきまぜ、あとは蓋をして火を止め、ゆで時間経過までそのまま放置するだけで、充分ゆでがります。ゆで時間10分のものなら、ガスや電気が約10分の1で済みますよ。

イラストレーション/tattaka

アサガオのカーテンで省エネを

その1



日差しが強い南側の居間の前と、西日の当たる窓に毎年朝顔で緑のカーテンを育てています。ニガウリ、キュウリを何本か植える時もあり、新鮮な野菜が食卓にのる楽しみも味わえます。家の中は少し暗くなりますが、毎朝朝顔の花の数を数えるのも楽しみです。朝夕水をまくと、とても涼しい風が家の中に入り、扇風機も減多につけなくて過ごすことができます。夏の強い日差しをさえぎる方法としては、大変良いと思います。

古着・古タオルを雑巾代わりに

やりのはしらさん

その4



我が家では、何か拭くものが必要になったとき、「ティッシュとって!」というのをやめて、着なくなった古いTシャツやぼろぼろになったタオルなどをA6サイズに切り、ボックスに入れて雑巾代わりに使っています。使い捨てできるし、吸収力がよいので水をちよっとこぼしたときや自転車磨き、部屋の掃除やほこりとり……。なんにでも使えてとってもいい感じです。

環境省では「我が家の環境大臣事業」を通じて、環境にやさしく暮らしを心がけるエコファミリーを応援しています。

エコファミリーウェブサイト <http://www.eco-family.go.jp>

今回ご紹介したアイデアは、エコファミリーから寄せられた、我が家の「eco宣言☆」、エコライフアイデアを、一部内容を編集して掲載しています。